

創立 20 周年記念式典

平成13年8月、福島県須賀川市民が後藤伯の須賀川医学校時代をテーマに創作した市民劇「明日を繋ぐ橋」の舞台観劇を契機として後藤新平顕彰会の機運が盛り上がり、平成14年5月に後藤新平顕彰会が組織されました。



【記念式典並びに記念講演】

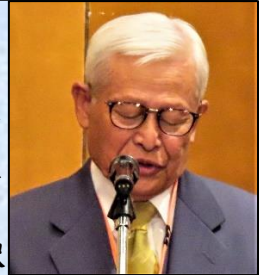
10月22日、プラザイン水沢で後藤新平顕彰会の創立20周年を記念した式典並びに講演会が、約130人の出席の下、開催されました。

開会に先立ち、ボーイスカウト水沢第3団が自治三訣を唱和し、女声合唱団椿の会が新平顕彰歌「ゆかりの巨像」を斉唱しました。

山口了紀会長は、「偉業と遺徳を顕彰し、日本の未来を背負う若い世代に思いを引き継いでいく」と挨拶。

その後奥州市民劇で後藤新平役を務めた星鴉宮さんが、「演じる」ということを落語を通して体現して見せてくれました。市民劇を見た時に、まさに後藤新平がそこにいて話しているような思いをしたことを思い出しました。

それまで縁のなかった後藤新平を演じるに当たって、多くの本を読み記



念館にも足を運んで役作りに努めていたからこそであったことを改めて思い知らされました。また市民劇の裏話も折々に盛り込まれて、当時のことを思い出しながら、一層思いを深くすることができました。子ども達がいることも配慮しての小学校ネタや歌等の選考にも、お気遣いを感じました。

【顕彰会活動紹介1（関東大震災企画展等視察）】

9月12～13日、関東大震災関連企画展等の視察を目的として、「東京都復興記念館」「国立科学博物館」「吾妻橋袂慰霊碑参拝」「隅田川水上クルーズ」を実施しました。

後藤新平の業績に改めて驚嘆しました。



【顕彰会活動紹介2（奉仕活動）】

10月7日、20周年記念事業の一環として、後藤新平記念館と隣接の後藤伯記念公民館周辺で、施設環境整備清掃奉仕が行われました。作業には、顕彰会員や近隣町内会員等、約30人が参加。特に、全面休館で草ぼうぼうの公民館が、見違えるようにきれいになりました。



【顕彰会活動紹介3（出張紙芝居）】

10月31日、市の老人クラブ連合会からお招きをいただき、約50人を前に調査研究部会長の板澤夏美さんが、出張紙芝居を行いました。拍子木の「カーンカン……」



【顕彰会活動紹介4（輪読会）】

隔月・奇数月の第4木曜日、輪読会を実施しています。現在は、山岡淳一郎の「後藤新平日本の羅針盤となった男」。次年度以降は、「後藤新平 国難来」の予定。音読後、山口会長が解説してくれるところがポイントです。



《5月25日実施の輪読会》